

歯の衛生週間によせて

— 6 —

歯科医からのメッセージ

病気の早期発見のために健康診断へ行くことは一般的です。が、

むし歯や歯周病の早期発見のために、歯科医院に行くという事はなかなか知られていません。しかし、身体の病気と同様に口の中においても早期発見・早期治療は大変重要な事です。

近年の厚生労働省の調査によると、「成人

の約8割が感染している」という歯周病。実は歯周病の初期段階で自覚症状を持つ人はほとんどなく、症状が表れたところにはかなり進行した状態であり、既

に手遅れというケースもあります。

歯周病といえば、歯がグラグラしてきて抜けてくる病気というのは多くの方がご存じだと思いますが、この歯

周病が最近の研究によると、他の全身疾患と関連していることが分かっています。

全身に運ばれます。また、唾液に混ざった歯

周病菌が、誤って肺に入ることもあり、これらの結果、体のさまざまな部位やその働きに影響を及ぼすこと

があります。歯周病との関連を指摘されているものは、口腔がん、心筋梗塞、糖尿病、肺炎などが、歯周病を長く患うとこれらのリスク

を高めることになり、早産・低体重児出産も歯周病と関連があるといわれています。

歯の代表的な病気のむし歯や歯周病は放っておいて治ることはありません。進行すると治療期間も長くなり、歯を失うリスクも高まります。お口の健康を保つには、定期的に検診に行くことにより、

早期発見・早期治療をすることが大切です。ひいては全身の健康を維持することにつ

ながるのです。

日々の健康管理のためにも歯の定期検診を受け、可能な限り早期治療を受けることをおすすめします。歯が痛くなったから行くのではなく、予防として定期的に歯科医院に行くことを心がけましょう。

.....
例年春に実施している「歯の衛生週間事業」のイベントは、今年は11月4日の「秋の歯科イベント」として行います。(おわり)